

親子で橋の簡易模型製作に挑戦

川西市が体験型イベント

Eイト日技が協力

兵庫県川西市は、安全で安心な暮らしを支える土木やインフラに興味を持ってもらうと、小学生対象の体験型イベント「道と橋の大切さをまなぼう」を1月12日に開いた。

2024年度国土交通省先導的官民連携支援事業の一環で、橋梁点検・調査や補修・補強設計など多くのインフラ

メンテナンス事業に関わってきたEイト日本技術開発が協力。座学や橋の工作体験などを通じ、土木やインフラの大切さを伝えた。

東谷公民館で行われたイベントには北陵小、東谷小、牧の台小から親子21組50人が参加した。ミニ講義やクイズで道・橋の役割や種類、メンテナンスの必要性などを学んだ後、パスタ麺と工作用紙を使って親子で橋の簡易模型製作に挑戦。長くて丈夫な橋を造るための形状などを考えながら模型を完成させた。強度実験も行い、橋の上に置いたペットボトルの荷重に耐えられるかを確認した。写真。

会場の敷地内では道路の補修見学も行われた。参加者は初めての体験を楽しみ、Eイト日本技術開発らが提供したイチゴ苗木、木粉簡易トイレセットなどの豪華景品にも満足。イベント後のアンケートでは参加者全員から「また参加したい」と回答を得た。

